

気軽に文化講座「コミュニティ・カレッジ in 内子」 令和3年度カリキュラム

愛媛大学地域共創研究センター/気軽にコミュニティ・カレッジ in 内子懇話会/内子町教育委員会 共催プロジェクト

開催月	講座内容	講師
9月30日(木) 19:00~20:30	「木々と歩くー小田深山の道・旧森林鉄道の記憶ー」 銘木の産地・小田深山で1923年から1952年まで稼働していた高知営林局2級森林鉄道(旧森林鉄道)と林業集落にまつわる現地の痕跡や記憶の継承、活用の可能性について一緒に考えてみましょう。合わせて、今回の講座では、小田地区全域で6年間取り組んできたプロジェクト『木々と歩く』MAP(上川・本川・中川・寺村・吉野川・立石・南山・宮原~獅子越~獅子越~淵首・小田深山溪谷)が、シリーズ9作目の製作をもって完成しましたので、小田地区を「木々と歩く」魅力についてご紹介いたします。	地域資源マネジメント 学科 文化地理学・観光学 井口 梓(准教授)
10月7日(木) 19:00~20:30	「まちを元気に」 私たちの町も人口減少、少子高齢化が進んでおり、このことが地域の活力を失わせています。そのため、私たちが生まれ育った町をしっかりと次の世代につないでいく必要がありますが、私が考えるその取組をお話したいと思います。	内子町長 小野植 正久
10月21日(木) 19:00~20:30	「フィールドワーク教育から地域コンテンツ開発へ」 現在取り組んでいるフィールドワーク学習とICT学習を連結した教育活動についてお話しします。日本には教育を早くから理系/文系に区分する特殊な伝統があり、文系学生は数学やプログラミングに対して苦手意識を持ちやすいのですが、「フィールド体験のプログラミングによる表現」を授業の到達目標とすることで、文系学生のICTに対する学習意欲を高められないかと考えています。西条市をフィールドとしたクイズアプリの制作、四国の文楽を題材としたアプリ制作の実践例についてご紹介します。	産業マネジメント学科 数理経済学 川口 和仁(教授)
11月25日(木) 19:00~20:30	「地元で学ぶ『地元学』」 過疎・高齢化が進む農山漁村では、「ここには何も無い」、「街へ行ってもいい仕事に就け」と言われてきました。しかし今では、地方の良さや可能性を見つめなおす動きも出てきています。何の変哲も無い暮らしから知恵や技を引き出ししてみると、素晴らしいことや驚くことが数多くあります。それを見出して実践につなげる方法が「地元学」。これは学問ではなく、「地元で学ぶ」姿勢を意味しています。本講座では、これまでに実践した事例を紹介し、地域が元気になった経緯を解説します。	地域資源マネジメント 学科 農山漁村振興 笠松 浩樹(講師)
12月23日(木) 19:00~20:30	「紙について考えてみよう」 皆さんは普段何気なく紙を使用していると思います。身の回りのものをもう一度よく観察してみてください。あらゆるところに紙が使用されていると思います。実は、それらの紙には、用途に応じた機能が付与されています。本講演では、紙とは何か、から始まり、紙の作り方、機能性の付与方法について実例を交えて説明することで、皆さんに紙を身近に感じてもらいたいと思います。	産業イノベーション学科 環境保全材料学 福田内曉(准教授)
1月20日(木) 19:00~20:30	「コロナ禍における酒環境と盛り場の変化」 コロナ禍は私たちの生活を大きく変えました。お酒の生産・販売・消費では、業務用市場の低迷、家飲みの増加、飲食店の廃業をはじめ、愛媛大学酒プロジェクトも断念せざるを得なくなりました。本講座では、こうした酒環境の変化を確認するとともに、大街道・銀天街におけるGET!やZARAなど有力店の閉店や飲食店の増加、二・三番丁界わいの飲み屋街における個性や風情の消失を伴いながらの一体化の進行など、松山の盛り場の変化動向をご紹介し、酒・盛り場の今とこれからを考えたいと思います。	地域資源マネジメント 学科 文化・経済地理学 寺谷 亮司(教授)

○ 場 所: 内子自治センター 1階 多目的ルーム(全講座)

○ 受 講 料: 年会費 2,000 円 / ご興味のある講座のみの受講も可能(各講座 500 円) 但し、**高校生は無料。**

○ 問い合わせ: 内子町教育委員会 自治・学習課 Tel0893-44-2114

気軽にコミュニティ・カレッジ in 内子 懇話会代表 森長照博 Tel0893-44-2094

コミュニティ・カレッジは地域のみなさまに
心の豊かさや教養を高めていただくために開催している講座です。
お気軽にご参加ください。

